

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

| | | | |
|-------|----------------|------|----------------|
| 受診施設名 | 桂保育園 | 施設種別 | 保育所 (旧体系：) |
| 評価機関名 | 一般社団法人 京都府保育協会 | | |

平成28年 1月20日

| | |
|---------------|--|
| 総 評 | <p>桂保育園は、キリスト教の教えに基づき、地域の保育に欠ける児童とその保護者家庭の幸せを祈り、児童福祉法の定めるところに従って保育を行っています。園は、家庭保育を補完しながら養護に教育を加味し、保育の中で、“ともに育ち合う、神と人に愛される子どもに育つ”様、保護者と共に育てていくことを方針としています。</p> <p>一つ一つ形が異なる保育室はそれぞれに個性を持たせ、モンテッソーリ教育の考え方を取り入れ、子どもが主体的に育ち合うことができる生活基盤型の環境構成が図られています。</p> <p>地域子育て支援事業としては、地域子育てステーション、園庭開放、子育て講座等を実施し、また、育児相談、一時保育、休日保育を実施しています。卒園児の保護者による後援会があり、在園児の保護者会と共に総会、バザー等の行事を行っています。</p> <p>子どもに対する保育内容を充実させつつ、地域の子育て支援の拠点として活躍している保育園です。</p> |
| 特に良かった点(※) | <ul style="list-style-type: none"> ・ I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。 管理者は保護者アンケートを基に職員との座談会を実施したり、職員との面談を基に2歳児を交えた異年齢保育を行うなど、質の向上に向けて取り組んでいます。また今年度パソコンを4台導入するなど、業務の効率化に向けてリーダーシップを発揮しています。 ・ II-3-(1) - ①利用者地域とのかかわりを大切にしている。 西京区子育てネットワーク連絡会や西京子ども支援センター等の機関と連携しています。また、卒園児の保護者が組織する後援会がもちつき大会を行ったり、在園児の保護者と職員が座談会を行うなど地域との関わりを大切にしています。 ・ IV-1-(3) - ③保育内容子どもが自発的に活動できる環境が整備されている 子どもが自由に素材や遊具を選び、好きな遊びに取り組めるよう環境を整えています。 |
| 特に改善が望まれる点(※) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報保護、利用者に関する記録の管理体制の職員への周知 これらに関する規程はありましたが、確認しやすいよう環境を整備し、職員へ周知されると良いでしょう。 ・ マニュアルの整備と職員への周知 ボランティア受け入れに関するマニュアル、健康管理マニュアル、虐待防止マニュアル、不審者対応マニュアルを整備し、職員へ周知されると良いでしょう。 |

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

| | |
|-------|---------------|
| 受診施設名 | 桂保育園 |
| 施設種別 | 保育所 |
| 評価機関名 | 一般社団法人京都府保育協会 |
| 訪問調査日 | 平成28年1月20日 |

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|-----------------------|-----------------------------------|------------------------------------|---|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| I-1 保育の理念・基本方針・目標 | I-1-1 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。 | ① 保育の理念が明文化されている。 | A | A |
| | | ② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。 | A | A |
| | I-1-2 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。 | ① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。 | A | A |
| | | ② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。 | B | A |
| I-2 計画の策定 | I-2-1 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 | ① 中・長期計画が策定されている。(非該当) | 非該当 | 非該当 |
| | | I-2-2 保育の計画が適切に策定されている。 | ① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている。 | B |
| | ② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。 | | A | A |
| | ③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。 | | A | A |
| | ④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。 | | A | A |
| | ⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。 | A | A | |
| I-3 管理者の責任とリーダーシップ | I-3-1 管理者の責任が明確にされている。 | ① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。 | B | A |
| | | ② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。 | B | A |
| | I-3-2 管理者のリーダーシップが発揮されている。 | ① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。 | B | A |
| | | ② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。 | B | A |

【自由記述欄】

- ・ 保育園の理念、方針、目標をホームページや園のしおりに明文化し記載しています。保護者に対しては園のしおりを配布し、また、クラス懇談会で説明し、職員に対しては研修会や会議を通して周知を図っています。
- ・ 5歳児が西京区桂川老人デイサービスセンターを訪問したり、また、デイサービスセンターの利用者の方が保育園を訪問し、絵本や昔話の読み聞かせを行うなど、保育課程等は地域の実態を考慮したものととなっています。
- ・ 年間指導計画から期間と月間に分けてカリキュラムを作成しています。クラス会議を通して評価と反省を行い、次のカリキュラムの作成につなげています。また、期間のカリキュラムの見直しも行っていきます。
- ・ 保育課程は、園長や主任が案を作成し、各クラスの意見を反映し編成しています。
- ・ 毎月の発行物として、「園だより」「クラスだより」があります。また、不定期に発行するものとして「さくらっこだより」があります。これらを利用者に配布することで、保育園の考え方や保育園の様子を知らせています。
- ・ 管理者は、保護者へ対してはアンケートを実施し、4月の園だよりに園の組織を記載し、また、職員に対しては保育制度や「きょうと福祉人材育成認証制度」の取り組みなどを説明するなど、管理者としての役割を表明しています。また、京都市保育園連盟や日本保育協会、キリスト教保育所同盟、認定こども園協会の研修に参加し法令等の理解のための取り組みを行っています。
- ・ 管理者は保護者アンケートを基に職員との座談会を実施したり、職員との面談を基に2歳児を交えた異年齢保育を行うなど、質の向上に向けて取り組んでいます。また、今年度パソコンを4台導入するなど、業務の効率化に向けてリーダーシップを発揮しています。

II 組織の運営管理

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|---------------------------------|-------------------------------------|--|--|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| II-1 経営状況の把握 | II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 | ① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。 | C | B |
| II-2 人材の確保・養成 | II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。 | ① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。 | B | A |
| | | II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。 | ① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。 | A |
| | ② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。 | A | A | |
| | II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 | ① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。 | A | A |
| | | ② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。 | C | B |
| | | ③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。 | C | A |
| II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。 | ① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。 | A | A | |
| | ② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。 | B | A | |
| II-3 地域との交流と連携 | II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。 | ① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。 | B | A |
| | | ② 事業所が有する機能を地域に還元している。 | A | A |
| | | ③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 | C | C |
| | II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。 | ① 必要な社会資源を明確にしている。 | C | A |

【自由記述欄】

・一時預かり事業、子育て相談事業（電話相談を含む）、数多い園児学者から地域の環境の把握に努めています。事業計画に反映すると良いでしょう。

・必要な育成ポイント、目標を盛り込んだ人材育成計画やキャリアアップ体系を整えています。

・職員と個別面談から職員の特別指定休を設け、また、インフルエンザ予防接種の補助などの福利厚生や、保育のスキルアップを図るための女性ライフサイクル研究所のEAPに参加するなど、職員の労働環境の改善に配慮しています。

・職員と面談し、参加する研修を検討しています。また、モンテッソーリ教育に関する研修には全員が参加するなど積極的に研修を行っています。職員一人ひとりの研修計画を作成されると良いでしょう。

・研修後は研修レポートを作成し、職員会議の中で発表を行い、回覧も行っています。特にモンテッソーリ教育に関して教材や環境構成などの評価分析を行い、次の研修に生かしています。

・実習生の受け入れについて、実習プログラムを準備し、積極的に実習生を受け入れています。

・西京区子育てネットワーク連絡会や西京子ども支援センター等の機関と連携しています。また、卒園児の保護者が組織する後援会がもちつき大会を行ったり、在園児の保護者と職員が座談会を行うなど地域との関わりを大切にしています。

・地域子育て支援ステーションとして、園庭開放、0歳児対象のおひさまルームで遊びましょう、おやつを作ってみる会、クリスマス会、クールキッズステーション等、地域の方が親子で保育園へ来ることができる取り組みが多くあります。

・ボランティアの実績が無く、マニュアル等がありません。今後、小学校5、6年生が休み中に保育園の子どもと過ごす取り組みの予定もあり、ボランティアを受け入れる体制作りをされると良いでしょう。

・職員室内には、行政、病院、警察署などの関係機関の名称や連絡先が表示され、情報を職員間で共有できるようになっています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|---------------------|-------------------------------------|---|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス | Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 | ① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。 | C | B |
| | Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。 | ① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。 | A | A |
| | | ② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。 | C | A |
| Ⅲ-2 サービスの質の確保 | Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。 | ① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。 | C | A |
| | | ② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。 | A | A |
| | Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。 | ① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている | B | A |
| | | ② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。 | B | A |
| | | ③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。 | B | A |
| Ⅲ-3 サービスの開始・継続 | Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。 | ① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。 | B | A |
| | | ② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。 | A | A |
| | Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。 | ① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。 | B | A |

【自由記述欄】

- ・個人情報保護に関する規程がありますが、職員が閲覧しやすいよう配慮するなど環境整備されると良いでしょう。
- ・苦情解決の仕組みや第三者委員の役割について掲示しており、苦情解決の仕組みを確立しています。意見や苦情の内容は、保護者会ニュースや園の配布物で保護者にフィードバックしています。
- ・今回が初めての第三者評価受診です。園長、主任、調理師、栄養士、保育士が参画して積極的に今回の受診に臨みました。
- ・毎年1回、職員の自己評価を4つの視点（①保育の方法、②子育て支援、③地域の住民や関係機関との連携、④運営管理）から行っています。職員との面談で園長と主任と共に資質向上について話し合っています。
- ・子どもの発達等の記録を期間ごとに統一様式にてまとめています。
- ・利用者の記録等に関する規程、規則がありますが、内容を確認しやすいように規程を整理すると良いでしょう。
- ・職員会議、代表者会議、クラス会議、フロア会議（0～1歳、2～5歳）、全体会議など、多くの会議を用いて職員間で情報を共有しています。
- ・法人の機関紙「ひとふさのぶどう」や後援会だよりを通して、サービスや施設の情報を提供しています。
- ・転園についても保育要録を作成し、保育の継続性について配慮しています。

IV-1 子どもの発達援助

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|------------------|------------------|--|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| IV-1 子どもの発達援助 | IV-1-(1) 健康管理・食事 | ① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している | B | B |
| | | ② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている | B | A |
| | | ③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている | A | A |
| | | ④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している | B | A |
| | | ⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている | A | A |
| | | ⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている | B | A |
| | | ⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している | B | A |
| | | ⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている | B | A |
| | IV-1-(2) 保育環境 | ① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している | A | A |
| | | ② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている | A | A |
| | IV-1-(3) 保育内容 | ① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている | A | A |
| | | ② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している | A | A |
| | | ③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている | A | A |
| | | ④ 身近な自然や社会とかがわれるような取り組みがなされている | A | A |
| | | ⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている | A | A |
| | | ⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している | A | A |
| | | ⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している | B | A |
| | | ⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している | A | A |
| | | ⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる | A | A |
| | | ⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる | B | A |
| | | ⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる | B | A |

【自由記述欄】

- ・保健計画等で子どもの健康管理に留意し、会議等で話し合っています。健康管理マニュアルを作成されると良いでしょう。
- ・健康診断終了後、園医と話し合いを行っています。また、健康診断や歯科健診の結果を保護者に知らせ、食事の仕方について確認するなど、配慮が必要な場合には個別に対応し、診断結果を保育に反映させています。
- ・感染症に関するマニュアルを整備しています。流行時には、情報を職員や保護者に知らせています。
- ・子どもたちがキュウリやトマトを栽培し食べたり、4、5歳児が0、1歳児クラスへおやつを運び、一緒に食べるなど、食事を楽しむ工夫をしています。
- ・0、1歳児は両手で持ちやすい食器を使い、3歳以上は陶器の食器を使うなど、食器の素材や形などに発達に応じた配慮があります。
- ・クラス懇談では調理職員が話す機会を設けたり、給食体験を通して、食についての家庭との連携に努めています。
- ・アレルギーマニュアルを整備しています。指示書のもと代替食を提供しています。
- ・砂場にシートを置いたり、トイレ掃除チェック表があります。玩具等は酸性水で消毒しています。屋内外の衛生への配慮が見られます。
- ・どんぐり拾いに出かけたり、園庭でチューリップを育て、部屋に飾るなど、自然物を取り入れ、季節を活かした保育環境を整えています。

- ・排尿間隔を記録し、トイレに誘うタイミングを見計らうなど、一人ひとりの状況に応じた対応をしています。
- ・子どもが自由に素材や遊具を選び、好きな遊びに取り組めるよう環境を整えています。
- ・カブトムシや蝶々を幼虫から育てたり、市バスで同法人の専門学校や電車でキッズプラザへ出かけるなど、自然や社会と関わる取り組みがあります。
- ・キリスト教の精神を大切に「みんなが同じ様に神様や人に愛されている」ことを子どもが感じることができるよう人権に配慮した保育をしています。
- ・乳児保育では、担当制保育を行い同じ子どもと関るよう配慮しています。
- ・園全体が子どもたちの家であり、フロア全体が子どもたちの生活スペースとなるように保育を展開しています。異年齢を通して、子どもたちは自分の活動に合わせて部屋を選び、活動に専念しています。
- ・園舎は古く、増改築を行っており、園舎内には階段や段差が多い中で、子どもたちが協力し、助け合う姿を大切にしています。支援学校や発達支援センターの案内を掲示しています。

IV-2 子育て支援

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|---------------|---------------------------|---|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| IV-2 子育て支援 | IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援 | ① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている | A | A |
| | | ② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている | C | A |
| | | ③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている | A | A |
| | | ④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている | A | B |
| | | ⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている | A | A |
| | | ⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。 | B | A |
| | IV-2-(2) 一時保育 | ① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている | A | A |

[自由記述欄]

- ・保護者との日常の情報交換を連絡帳や登降園時記録簿で行うと共に、個人懇談を年2回、実施しています。
- ・保護者との情報交換については、連絡帳や面談記録があり、園長や主任が確認しています。
- ・年3回のクラス懇談があり、定期的に保育参観や給食体験を行い、保護者と共通理解を図っています。
- ・虐待防止について、関係機関の連絡先等を明示し、連携の下、早期発見、早期対応に取り組んでいます。虐待防止マニュアルを作成されるとよいでしょう。
- ・子どもの発達記録を整備し、保幼小連絡会への参加や児童相談所、同じ法人の児童発達センター「洛西愛育園」と連携を図っています。
- ・一時保育について、保育内容によって通常保育の同年齢の子どもの活動や行事に参加しています。

IV-3 安全・事故防止

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|-----------------|-------------|---|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| IV-3 安全・事故防止 | (1) 安全・事故防止 | ① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている | B | A |
| | | ② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている | A | A |
| | | ③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている | B | B |
| | | ④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている | B | B |
| | | ⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている | C | B |

[自由記述欄]

- ・衛生管理マニュアル、食中毒防止マニュアルを整備しています。衛生管理については、給食会議で定期的に検討しています。
- ・事故や火災発生時に対応する安全対策マニュアルを整備し、ヒヤリハット委員会があります。今後は、マニュアルを職員に周知し、ヒヤリハット委員会を有効に活用すると良いでしょう。
- ・不審者対応の訓練を行い、研修にも参加しています。今後はマニュアルを整備し、職員へ周知すると良いでしょう。